



東京多摩プロバスニュース



第 102 号

■事務局: 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-17-18 登坂征一郎方 ■電話: 042-375-5878

■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com> ■編集・発行: 広報委員会 2022. 9. 6.

共に学びながら、高齢化社会に貢献しよう

第 19 期定期総会、第 217 回 定例会

日 時 : 令和 4 年 7 月 6 日(水) 13.30~16.00

場 所 : 関一かつむぎ館 第3会議室

出席者 ; 14 名(会員数; 20 名)

第 218 回 定例会

日 時 : 令和4年 8 月 3 日(水)、予定するも急遽中止

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



コロナ禍の中で 19 期を迎えて

19 期を迎える 1 週間前に突発的な出来事がありながら、理事会皆様方のご協力により無事 19 期を迎えられたのは感謝の極みでございます。ここ 2 年間コロナ禍の中で社会貢献活動や親睦となかなか活動ができずにおりましたが、前期最終月と今期にまたがり昼食例会と山梨方面への日帰り研修旅行が出来たことは幸いと存じます。これも研修・親睦委員会の努力の賜物だと思います。

コロナ禍も 7 波を迎え、今後どのような事態になるかも知れない今日この頃ですが、親睦だけは無理をしない範囲で継続していきたいものです。

また、今期は 20 周年記念事業に向けての実行委員会の立ち上げや、11 月に行われる全日本プロバス協議会総会のホストクラブ東京八王子プロバス

スクラブのコ・ホストクラブとして協力をしなければなりません。

いずれにしても現状の会員数では将来も危ぶまれます。会員委員会に頼らず、会員一人が一名増強する会員倍増計画をしようではありませんか。コロナ禍ですから…

小島明幹事



「南野スカイブリッジ」; 尾根幹線道路を跨ぐ橋で、南豊ヶ丘フィールドから恵泉女学園大学大学院を結んでいます。

◇◇◇ 第19期定期総会 ◇◇◇

第19期定期総会(令和4年度)が7月6日(水)午後1時30分より関・一つむぎ館で開催された。

開会に先立ち、6月に新入会の酒井善夫、杉原正強(まさたけ)各会員から自己紹介があった。

総会は、議長に堀内陽二、書記に伊藤健一会員が選出されて審議に入り、第1号議案から第6号議案まで、すべて異議なく承認された。

第19期の新役員と活動方針の概要は下記の通り。

1. 令和4年度新理事・監査

会長	高村弘毅
副会長	増山敏夫
幹事	小島明
会計	杉原正強
総務委員長	藤寄喬子
研修・親睦委員長	片倉満
地域奉仕委員長	秋山正仁
広報委員長	伊藤健一
会員委員長	飯作金彦
監査	北村克彦

備考) 事務局として、登坂征一郎会員が前任の鈴木泰弘氏から引き継ぐこととなった。



新任の役員:前列左から増山副会長、高村会長、藤寄総務委員長、小島幹事、後列左から飯作会員委員長、秋山地域奉仕委員長、杉原会計、伊藤広報委員長、片倉研修・親睦委員長各位

2. 令和4年度基本目標と活動方針 高村弘毅会長 〈スローガン〉

「共に学びながら、高齢化社会に貢献しよう」

(急遽、会長留任となったため、活動方針はこれまでのものを継続し、今後協議してゆくこととなりました。)

3. 幹事活動方針 小島明幹事

- ①会長方針を遵守し、会の速やかな運営を心掛ける。
- ②コ・ホストクラブとして、東京八王子2022の運営に協力する。
- ③会員委員会と協力して会員の増強に努める。
- ④創立20周年へ向けての体制作りをする。

4. 各委員会の活動方針

- 1) 総務委員会 藤寄喬子委員長
クラブの円滑な運営を目指して、多様化を図り魅力ある定例会を企画する。
- 2) 研修・親睦委員会 片倉満委員長
日帰りバス旅行(7月)、忘年懇親会(12月)、講演会・昼食付(3月)、極地研究所及び国文学資料館見学(5月)
- 3) 地域奉仕委員会 秋山正仁委員長
①多摩市のESD政策の支援。②多摩市内の湧水調査。③社会奉仕活動に参加等。
- 4) 広報委員会 伊藤健一委員長
①定期的に会報を発行。②クラブのホームページの充実。③オンライン技術の活用促進。
- 5) 会員委員会 飯作金彦委員長
第17期に発足した委員会としての重責を認識し、少なくとも30名の組織となるように会員増強に努める。



定期総会の様子

◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

小島明幹事

- 1) 会員構成(敬称略) 令和4年7月1日現在
会員:20名 内休会員4名(上田清、鈴木達夫、松山洋一、廣瀬昌英)
会友:10名(青木ひとみ、鈴木泰弘、小池博、瀬尾日出男、大澤亘、永島仁、中村昭夫、阪東熙子、蓮池守一、山田正司)
- 2) 八王子プロバス・日野プロバス・多摩プロバスの三クラブ合同コンペが10月14日(金)、GMG八王子カントリー

ーで行われる。

- 3) 11月24日に全日本プロバス協議会 第10回総会 東京八王子大会が京王プラザホテル八王子で行われる。
オプションとして翌25日には、エクスカッション(野外活動)“高尾山の秋を楽しむ”が予定されている。
コロナ禍の中、同大会が行われるか不安があるが、コ・ホストクラブとして協力を全員にお願いしたい。
- 4) 会員数が少ない為、出来ることなら60歳代の会員の増強に努めてほしい。

◇◇◇ 幹事・委員会報告(つづき) ◇◇◇

2 委員会報告

2.1. 総務委員会

藤寄喬子委員長

1) 第19期定期総会：7月6日(水)

関・一つむぎ館第3会議室

出席者：14名 委任状：3名

総会直前のアクシデントによる議案内容の変更も承認された。

同日同所に於いて引き続き第217回定例会を開催

出席者：14名 会員数(会員+休会員)：20名

誕生祝い：片倉満会員

2) 第218回定例会：8月3日(水)

関戸公民館8階第3学習室の予定であったが、コロナ再拡大の状況から中止。急遽となる変更は数名の理事が手分けをして会員の皆様へ連絡をして頂き感謝に堪えない。予定していた内容は次回定例会にと考えている。

2.2. 研修・親睦委員会

片倉満委員長

7月事業の山梨県方面バス日帰り研修旅行は14日(木)に無事に終了しました。参加13名は、暑い盛りでしたが楽しく元気で交流・親睦を深めることが出来ました。

詳細5ページ参照

今後の当委員会は、定例会開催当日、午前11時から関

戸公民館ミーティングルームにて開催いたします。また、今まで交流深めてきた八王子、日野、横濱、埼玉浮き城等の各クラブとは引き続き交流を深め、研鑽を深めて参ります。

2.3. 地域奉仕委員会

秋山正仁委員長

年間の活動方針は、定期総会での報告通りです。今月は活動できず、とくに報告はありません。

2.4. 広報委員会

伊藤健一委員長

7月21日、編集会議をオンラインにて行い、プロバスキュース第102号の編集案等について検討した。編集案について7月27日の理事会で審議、承認された。



広報委員会(スカイプ編集会議)の様子

2.5. 会員委員会

飯作金彦委員長

年間の活動方針に沿って、全員で会員増強に努めたい。

◇◇◇ 世界のプロバス-PROBUS Global- ◇◇◇

PROBUS Global (プロバスグローバル)の紹介 (1)

伊藤健一会員

海外のプロバスクラブについて調べていて、世界のプロバス交流サイト PROBUS Global (PG) を偶々見つけました。

サイトの説明には Probusglobal.org はプロバスグローバルの会員及びプロバスクラブ間のコミュニケーションと交流を可能にすることを目的としたソーシャルメディアウェブサイト、と説明されている通り、非常に素晴らしい会員交流サイトです。

1996年に、International Probus Network (IPN) という交流サイトが最初にできて、2019年に PROBUS Global (PG) としてリニューアルし、今日に至るまで二十数年にわたりプロビアンをつなぎ続けている。カナダ、英国、オーストラリアほか世界各国のプロバスクラブにより運営されています。

PG 会長のリチャード・ファーロン氏は、カナダの The Newmarket Men's PROBUS Club の会長で、カナダプロバスの元会長です。

リチャード氏によると、PG のモットーはカナダプロバスのモットーと同じで、

BAF - BAF - MAF

Be A Friend - Bring A Friend - Make A Friend

(友達になろう-友達を連れて来よう-友達を作ろう)

シンプルで力強いモットーですね!

近隣のクラブに限らず、国内、海外のクラブのメンバー同

士が友人となり交流を深めることができれば、たいへん意義深いことだし、楽しいと思いませんか。また、PG に会員登録ができるのはプロバスクラブ会員だけなので、前もっていずれかのクラブに入会しておく必要があります。

PG の会員登録は簡単で、メールアドレスとクラブ名等を入力するだけで完了します。「Join PROBUS Global (プロバス・グローバルに参加)」というところから登録できます。

私は一月ほど前に会員登録しましたが、なんと日本のクラブからは私が最初の登録でした。すぐに会長のリチャード氏から歓迎のメールがあり、これまで PROBUS Global ができて以来3年間、何度も日本のプロバス会員やクラブ等と連絡を試みたが一度も返事がなかったとのことでした。日本のプロバスクラブについて知りたいので、ぜひ次号ニュースレターに寄稿してほしいと依頼されました。やってみましょう、と返事をし自身の所属クラブのことや11月に開催予定の全日本プロバス協議会総会・東京八王子大会の紹介も含めて寄稿しました。つい先日(8月29日)発行された PROBUS Global の9月号ニュースレター(P9)に掲載されました。巻頭(P1)の会長あいさつにも、PGの日本への普及の期待を込めて紹介されています。ニュースはPGのホームページから閲覧できますので、ぜひご覧ください。

それから、PROBUS Global のミーティング(Zoom)が来る9月22日午後9:00(日本時間)～開催されます。私も参加しようと思います。どなたかご一緒にいかがですか?

さあ、あなたもPGへ登録し世界のプロバスと交流を!

⇒ “probus global” で検索!

高村弘毅著「タクラマカン沙漠縁辺の環境と人」を
俳句する その1 増山敏夫会員

昨夏当クラブの会長・高村氏にこの写真本を頂いた。水文学者として母校のチームを率い新疆大学と30数年前に行った沙漠化の調査の記録である。視力の衰えで活字を追う難儀から解放され、毎日ページを繰って楽しんだ。或日これは俳句になる!と気づき、写真を眺めての俳句旅だった。3回に分けて紹介させて頂く。(写真・解説は同書)



著者の高村先生(写真の左端)もウィーグル人になって記念写真。髭を褒め合い、帽子を褒め合うのが男の挨拶。帽子を交換して写真に納まった。

髭を褒め帽子を褒め合う日焼けの手

昼食をごちそうになった。手で抓むので食事の前に3度の手洗いの習慣。洗い方にも作法。主人が垂らす容器の貴重な水をこぼさぬよう。この作法、日本の抹茶の手水に似ている。水の容器を柄杓に替えれば。

春手水右手左手一つまみ

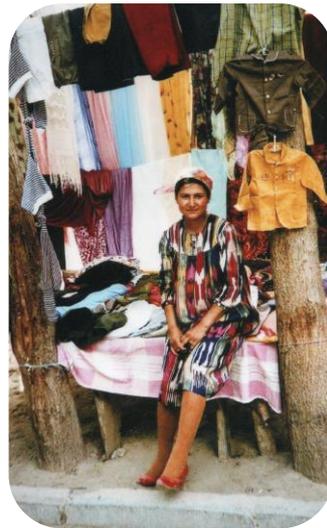


帰路を急ぐ驢馬車列。白楊のシルクロード。この並木は背後の堀割りに時折流される灌漑水により維持されている。

白楊の涼しき街道驢馬車駆る
緑陰の堀割突如進る

よく見ると自転車も写っている。故岡野一馬さんを思い出した。岡野さんはシルクロード銀輪の旅を仲間と続けておられ、タクラマカン沙漠縁辺も旅されている。その旅のスケッチ展で私は初めてお会いしたのだった。その画集「砂の海の記憶」を開くと、ウルムチ、チャルクリク、ニヤ、ホータンなど同じ土地を旅されたことが分る。

羅馬まで銀輪の旅大西日



バザールの衣服販売店。店棚を街路樹の間に置き、ロープを掛け渡し商品の衣服を広げ吊る。民族衣装(アトラス)の女主人。白楊の街路樹は店棚を組むのに便利、閉店中の商棚は真昼の涼みを満喫できる。ウィーグルの人々は歌舞音楽が好きだ。民族楽器を奏で踊る。

目は鶯色涼む店主はアトラス
緑陰にお洒落着吊れば衣料店
閉店の店棚の涼一弦琴



路上の青空理髪店。回教徒は髭を剃らないので整髪のみ、洗髪もなし。ユニークなのは小さい四角形の日傘。太陽とともに傾ける。四角の大きな日傘もある。同行の写真家・伴野憲司氏の写真集「シルクロード」にバザールの映像があった。隙間なく並べ

ことができる。私が見た他のイスラム圏バザールは丸だった。見てキレイだが隙間ができる。

路上の床屋小さき日除けの椅子一つ
手にバリカン裸足涼しき路上かな
日除けは四角三角盛りの干し葡萄



沙漠化で埋もれつつある巨木、昔此处が森林だったことを示す。幹の短くなった巨木を背に長老が立つ。汗の蒸発を避けるため、長袖のコートを着ている。

見上げれば浮び出る森蟬時雨

むらおき
村長も袖は捲らず炎天下

(以下次号)

日帰りバス研修旅行報告 片倉満研修・親睦委員長

去る 7 月 14 日 (木) は山梨方面へ日帰りバス研修旅行となりました。

多摩を朝出発する頃は雨模様でしたが現地では晴れ間が多く、東京の蒸し暑さを忘れる程よい気温の天候でありました。コロナ感染禍のさなかでありますから感染予防に十分気を配り実施となりました。



貸し切り小型観光バスが最初に訪れたところは山梨県立美術館です。ここでは印象派画家ジャン=フランソワ・ミレーの作品が「種をまく人」はじめとし多数観賞することができました。有名な「落穂ひろい」の原物画の小ささに驚きました。中学時代に学び大ききのイメージを膨らましたせいかと、気付きました。しかし、19 世紀の作成である絵画のすばらしさは格別でした。ミレーが暮らしたフランスのバルビゾン村に集まった画家たちの作品も展示されており、当時の農村風景を垣間見るようでした。現在のフランスに限ったことではないですが、テロ事件、気候変動からくる自然災害の甚大な被害報道などからほど遠い静かで閑やかな欧州の農村風景を想像させてくれました。

次に訪れたところは、美術館がある甲府市内の信玄餅で有名な菓子店舗、桔梗屋さんの本社工場です。甘いものが好きな私は一緒に参加された増山会員から、新商品で最中の信玄餅が発売されているとのことから、到着するや買い求めたのですが昼前でありながら既に売り切れでした。

昼食は河口湖南にある店で甲府名物の「ほうとう」です。冷房の効いた店内でしたがこの夏に熱々の鍋を身近に置き、熱いうどんには閉口された会員がおられたのではないかと、と運営幹事として心配しました。この店内では武田武士 24 将の肖像画が展示されており、それを背景に記念の集合写真を撮りました。



山梨美術館の正面入り口



甲府名物のほうとう



甲府名物のほうとうの昼食を皆で楽しむ



研修旅行のバスツアーに参加した皆さん

その後は、山中湖周辺に移動し「忍野八海・お釜池」そして、県道 717 号線を走って「山中湖花の都公園・清流の里 フローラルドームふらら」を見学しました。



忍野八海・お釜池



花の都公園の入口と花畑

忍野八海は富士山の伏流水を水源とする湧水池です。天然記念物に指定されています。お釜池はとても小さい湧水池です。この場所では雨が降っていて、小学生の団体と行きかう程度の観光客しか見受けられませんでした。お天気であれば池の澄んだ美しさは格別のもので想像できます。

清流の里・フローラルドームふららに到着した頃は雨も上がり、周辺の景色が澄んで綺麗な山々の風景を見せてくれました。バスの駐車場から現地までは若干歩きます。本来なら正面に見えるはずのダイヤモンド富士は雲の影響で見えませんでした。道端に咲くラベンダー・ひまわりを見ることができました。

「清流の里」は見学せずに「フローラルドームふらら」を訪れました。ドーム内には熱帯植物や四季の花が咲いていました。(観賞した植物名をあいにく記憶していませんでしたので申し訳ありません)。そこの売店で食べたソフトクリームは美味しいものでした。

行程を計画通りの時間帯で終え、帰路は中央自動車道、甲州街道(国道 20 号)を夏の渋滞に巻き込まれずスムーズに通り返ることができ、聖蹟桜ヶ丘駅前に予定の到着時刻でつきました。

歴史と文化に満ちた山梨県を日帰りでありましたが楽しく旅行ができました。美術館入場料が 65 歳以上は無料となる特典を参加者全員が享受されるのですが、一日中皆お元気でした。

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

1. 7月誕生日を迎えられました！



ますます元気で過ごし、くよくよしない前向きの人生を。

片倉満会員

2. 8月誕生日を迎えられました！



無言の戦争兵士に黙祷

高村弘毅会員

◇◇◇ 誕生祝いの記念品 ◇◇◇

「誕生祝いの品」は、従来いろいろな品が選ばれてきましたので、偶には何にでも使える実用的なものにしてはと発案があり、ギフトカードを理事会の皆さんで相談して決めました。
増山敏夫副会長談



◇◇◇ 寄稿 (2) ◇◇◇

私のゴルフ自慢 No. 2

ホールインワンについて

飯作金彦会員

ゴルフ歴約 50 年、30 歳で始める。

○第 1 回目のホールインワン;多摩ヒルズゴルフコース(米軍専用のゴルフ施設) 約 30 年以前。

○第 2 回目; 2005 年 8 月 11 日、長野県小海リエックスカントリークラブ、14 番ホール・174 ヤード、使用クラブ 9 番ウッド。たまたま、徳光和夫氏が前の組で待っていて目撃されていたので、喜んでサインを頂きました。その時のスコアは、アウト 38、イン 38 の合計 76 でした。

○第 3 回目; 2015 年 5 月 10 日、八王子の相武カントリークラブでした。11 番ホール・157 ヤード、使用クラブ 11 番でした。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

梅雨明けは早かったものの、その後豪雨やら猛暑が続き、コロナ禍も一向に収まる気配がありません。

我がプロバスクラブは 19 期を迎えたものの、その活動も閉じ込められている感じです。

そんな状況下ですが、研修・親睦委員会のご努力によって山梨方面への研修旅行も実施され、その様子が報告されています。只閉じこもっているだけでなく、出来る範囲での交流旅行が出来た事は良かったですね。

増山会員の、高村会長の著になる「タクラマカン沙漠緑辺の環境と人」を読まれて、単なる感想だけでなく、その風景を俳句にされた投稿は楽しませて頂きました。次号が楽しみです。

また、伊藤会員による「プロバスグローバルの紹介」ですが、海外のプロバスクラブについて調べ、世界のプロバスクラブ交流サイトを見つけ、国内・海外のクラブメンバー同士との交流を始められたとの紹介も大変参考になる投稿です。

今回寄稿されなかった会員の皆様も、夫々感じていることや、実行されている事などをお寄せください。

(北村克彦会員 記)

◇◇◇ 東京多摩プロバスクラブソング ◇◇◇

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ